

令和7度年福島県生活習慣病検診等管理指導協議会 「糖尿病部会」開催結果

1 日 時 令和8年1月16日（金） 13：30～15：00

2 開催方法 Web開催

3 出席者 委員 11名

　　オブザーバー（保健福祉事務所） 9名

　　事務局 4名

4 議題

（1）福島県の健康指標について

（2）糖尿病対策に関する取組状況について

（3）CKD（慢性腎臓病）対策に関する取組状況について

（4）その他

5 議事概要

（1）福島県の糖尿病の現状について

本県においては全国と比較して若年層で、BMI25以上の者、BMI30以上の者、HbA1c6.5以上の者の増加が目立つ。若年層にはまず特定健診を受けてもらうことが最優先であり、受診しやすい時間設定などの利便性向上が重要である。また、糖尿病は、発症後「最初の10年」の治療が将来の心血管疾患リスク低下に大きく寄与するため、早期の生活習慣改善及び受診が大切であるということも合わせて啓発する必要がある。

（2）糖尿病対策に関する取組状況について

糖尿病重症化予防の取組は、透析導入の原因は糖尿病性腎症だけでなく、腎硬化症や肥満関連腎症による透析導入が増加しているため、これらを一括して捉える枠組みが必要である。

また、心疾患と腎疾患のリスク因子は重複しており、eGFR（推算糸球体濾過量）の単年の数値だけでなく、毎年の健診結果から「eGFRの年間減少率」を追うことで、早期にリスクを察知する仕組みが必要である。

（3）CKD（慢性腎臓病）対策に関する取組状況について

本県民を対象として実施した調査の結果、CKDの認知度は糖尿病に比べて極めて低いことが明らかになった。一方で、「糖尿病の合併症としての腎機能の低下」の認知度は高かった。市町村の広報は若年層に届きにくい現状にあることも踏まえ、糖尿病の高い認知度を活用して、CKDの認知度向上に取り組むとよいのではないか。

また、支援者となる保健医療関係者においても、糖尿病性腎症のみに留まらない、CKD全般に対する理解度向上が重要である。

（4）その他